

## 健康と仲間づくりを大切に！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

恒例のこの人インタビュー。今回は、大原野西境谷町にお住いの書道講師、竹原敏雄さんにお聞きしました。竹原さんは、若くして亡くなった書道師範の弟さんの遺志を受け継いで、45歳から書道を始めました。以下、竹原さんのお話です。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### 出張先にも硯を持参し研鑽を積む

私が書道始めたのは、書道師範をしていた弟が亡くなり、その遺志を継ごうと思ったからです。45歳の時でした。仕事で出張が多かったものです



から、いつも硯を持参し、仕事が終わって、夜に宿舎で毎晩のように勉強しました。通信教育も受けました。書道は、一人でできる。夜でも雨の日でもいつでもできます。その努力の積み重ねがあって、今は洛西老人福祉センター、西京老人福祉センターなど五つの教場で講師をしています。

### 継続こそ力なり、仲間づくりも大切に！

講師になって、私は仲間づくりを大切にしています。心が豊かになり、人の輪もできます。そこに来て楽しい、と感じる居場所づくりにもなっています。どなたも朱の丸をもらおうと嬉しいものです。上達する喜びがあります。集中力がいりますし、書の意味を調べて頭の体操にもなる。大事なことは、継続すること。継続こそ上達への道です。そして、健康と仲間づくりを大切にしたいですね。

私は、営業の仕事が長かったので、政治のことはあまり話しません。

しかし、医療の現状には、これでいいのかという疑問を持っています。

革新懇のことは、機関紙で知りました。ますますのご活躍を期待しています。

インタビューの後、竹原さんは、革新懇に加入いただきました。

右の書は、洛西・境谷会館喫茶室「櫛」の店内に展示してある竹原さんの作です。



しょうえんあきまさ よ さんけいとうか にたり  
小園秋正に好し。三逕陶家に似たり。

れんさい りへん きく はじ ひら いちりょうか  
憐殺す離辺の菊。初めて開く一両花。

## 介護問題住民懇談会

12月9日(日) 1時半～

西京区洛西支所

講師 京都民医連事務局長 松田貴弘氏

「介護の現状とよりよい介護をめざして」

主催 西京革新懇

# 10%消費税のここが問題

来年10月から10%への増税が予定される消費税。西京民商事務局の小西優子さんに業者の立場からみた問題点を聞きました。

## インボイスは免税業者泣かせ



複数税率（軽減税率）の導入とともに、課税業者にインボイスという書類の発行が義務付けされます。

業者が消費税を納税する際に、売上分の消費税（A）から仕入・経費分の消費税（B）を差し引きますが、この差し引き分（A-B）を証明する書類がインボイスです。

納税する業者は、（Bの）インボイスがもらえないと（Aを）まるまる納税しなくてはなりません。

免税業者は、インボイスを出せないの、今後取引から排除されることになりかねません。それを避けるためには、課税業者に登録するしかありませんが、小零細業者がそこまでできるか、まさに廃業の危機を迎えることになります。

また、建設業では親方が職人に支払った手間賃（消費税の差し引き対象）のインボイスがもらえず、まるまる消費税を納税することになります。インボイスは業者泣かせの制度なのです。

## たかが2%、されど2%、弱者に重い

消費税の増税は、低所得者や零細業者にとって重い負担になります。理美容や喫茶店などは、増税分の値上げできないでしょう。年金、生活保護などの低所得者は、1000円のお金で買えるのは、925円から909円に下がるのです。買い控えが増えるでしょう。「たかが2%」という人がいるかもしれませんが、「されど2%」なのです。

軽減税率も問題です。そば屋さんが店内10%で、出前なら8%。人件費もガソリン代もかかるのにおかしい、と怒っています。

スマホ決済で2%のポイント還元というのも、高齢者などの現状に合いませんね。消費税2%増税は反対です。中止すべきです。

# 乙訓からの報告

～大山崎町長選勝利の原動力～

武山彩子（長岡京市共産党市会議員）

## 山本町政の暴走に住民が立ち上がる



10月21日投開票で行われた大山崎町長選・町議選で、無所属で町議の前川光さんが、3855票（得票率50.9%）を獲得し、自民・

公明・国民・立民の推す山本圭一町長に競り勝って、民主町政の会が支援する町政が12年ぶりに実現しました。日本共産党は、前川さんを支持、町議選の中で、住民のみなさんに町政転換を訴えました。

大山崎町では、2年前の議会役員選挙で町長派が画策し、町長提案の予算や議案がなんでも通るような議会にしました。

そのもとで、町は1万1千筆の署名を無視し、一方的に学童保育所と小学校プールの移転を強行。住民が誇りにし守ってきた公立保育所の民営化と、民間園誘致の過程で引きこされた不透明な公共工事や公立保育所の廃園など、町政の暴走が続きました。

## 町政転換の原動力は住民の声と運動

この町政を転換させた原動力は、立場や世代を超えた幅広い住民の声と運動と共同でした。

保育所保護者が「子どもたちのゆたかな保育を守ってほしい」と願い、選挙で「町長を変えよう」「前川さんを支える議員をとおそう」と全町的な運動を展開。前川さんを応援するいわゆる「保守」のみなさんも、山本現町長の横暴に疑問や怒りをもち、選挙戦をたたかいました。

沖縄も大山崎町でも、住民は、草の根の力で、上からねじ伏せようとする相手の大きな組織力を跳ね返しました。

数の力や権力に頼り、民意をないがしろにする安倍政権のやり方が通用しなくなってきている証です。

来春の一斉地方選挙で、西京区でも、乙訓でも、幅広い住民のみなさんとの運動や共同で、沖縄、大山崎に続く勝利をつかみましょう。



が発足し、地道に署名運動を行ってきました。みんな  
で応援して早期の実現をめざしましょう。

# 中学校給食の実現を！

小学校のような全員制の温かい中学校給食を実現したい、西京区でいま、こんなお母さんたちの切実な声が広がっています。

全国の公立中学校では、82.4%（2015年5月1日現在）の中学生があたたかい学校給食を食べています。



府内では、京田辺市と亀岡市を除く自治体が中学校給食を実施又は予定しており、京都市では、全員給食制はわずか5校（施設一体型の小学校併設校）。66校は弁当持参か民委託を選ぶ方式。その他2校で、喫食率は3割程度となっています。

## 長岡京市が8月から実施に踏み切る！

長岡京市では、保護者の1万人を超える署名運動が実って、今年8月から第2中学校で全員制の給食が実施されました。第3・第4中は来年4月から。長岡中学校は、再来年1月からの予定（全4校）。

4つの中学校のうち、1校が「自校方式」で3校が近接する小学校の調理施設を利用する「親子方式」を採用。すべての調理施設が新設（予定）です、

実施校の生徒からは、「小学校と変わらずおいしい」「スープが温かい」「おなか一杯になった」等の声が上がっています。市の教育部は、「成長期における正しい食習慣は重要」であり、「共働き世代の増加」に対して「子育て支援の意味から」実施に踏み切ったとしています。（市のホームページから）



## 市がやる気になれば実現は十分可能

長岡京市の場合は、府の協力はもちろんのこと、国の補助金（施設整備）の活用も行っています。京都市は、子どもたちを取り巻く食環境の変化、共働き世帯の増加などにより、中学校給食実現の要望が加速している現状をしっかりと受け止めるべきです。

西京区では、昨年11月に市民グループ「小学校のような中学校給食をめざす ALL ネットワーク西京」